

高槻 まちかど遺産 H25-15



## 出世地蔵

明治時代の神仏分離により、三輪神社の外に出されてしまった地蔵を、信者が不憫に思い、昭和50年代頃に神社の鬼門にあたる北東に安置したといます。その際、「何度安置しても転ぶ、ということが続いたが、10年目に転ばないようになった。それは地蔵が修行を積んで高い位(阿闍梨)を得たからだとして「出世地蔵」と名付けた」と伝えられています。

毎年8月下旬には地蔵盆が行われ、現在も地元の人々から大切に祀られています。

平成26年3月 高槻市教育委員会

### 出世地蔵

明治時代の神仏分離により、三輪神社の外に出されてしまった地蔵を、信者が不憫に思い、昭和50年代頃に神社の鬼門にあたる北東に安置したといます。その際、「何度安置しても転ぶ、ということが続いたが、10年目に転ばないようになった。それは地蔵が修業を積んで高い位(阿闍梨(あじやり))を得たからだとして「出世地蔵」となづけた」と伝えられています。

毎年8月下旬には地蔵盆が行われ、現在も地元の人々から大切に祀られています。 平成26年3月 高槻市教育委員会

※01 明治時代の神仏分離により、三輪神社の外に出されてしまった。

その際、明治2年より昭和30年まで、地蔵さんは倒れたままでありました。それを昭和31年に起こした「何度安置しても転ぶ」ということが続いたが、10年目に転ばないようになった。それは地蔵が修業を積んで高い位(阿闍梨(あじやり))を得たからだとして「出世地蔵となづけ」祠を立て現在に至る。

毎年8月下旬には地蔵盆が行われ、現在も地元の人々から大切に祀られています。

※02 いつもこのお地蔵さんの前で「まだまだ自分は修行の身、修行が足りないなあと素直に今の自分を受け入れ、見守って下さいと」手をあわせる方が多い。